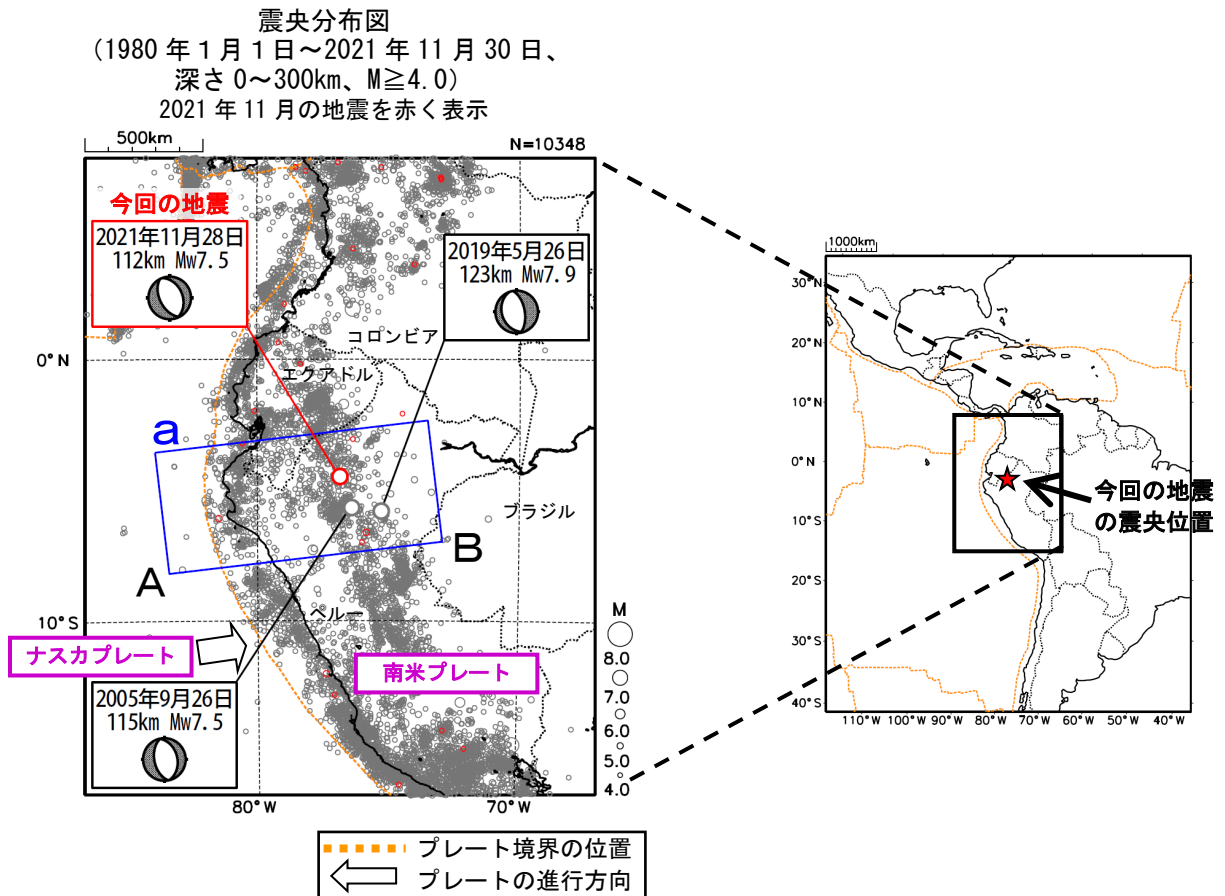


11月28日 ペルー北部の地震

2021年11月28日19時52分（日本時間、以下同じ）にペルー北部の深さ112kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

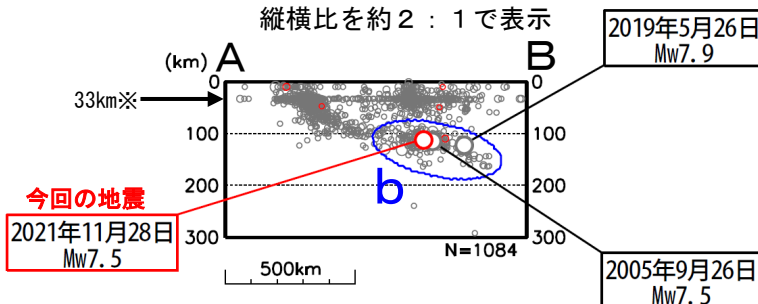
気象庁は、この地震に対して、同日20時20分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、負傷者17人等の被害が生じた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2005年9月26日に発生したMw7.5の地震では、死者5人、負傷者60人等の被害が生じた。また、2019年5月26日に発生したMw7.9の地震では、死者2人、負傷者15人等の被害が生じた（2019年5月30日17時現在）。

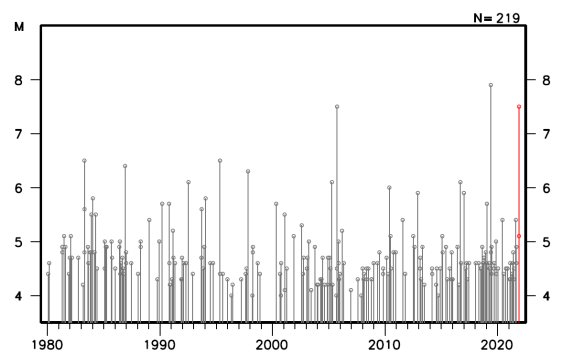


領域a内の断面図（A-B投影）

縦横比を約2:1で表示



領域b内のM-T図



※本図で深さ33kmに震源が並んでいるのは、USGSが深さを固定して震源計算を行ったことによるものである。

※本資料中、今回の地震及び2019年5月26日の地震の発震機構及びMwは気象庁、2005年9月26日の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2021年12月2日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。2005年9月26日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。被害状況で出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.